

## 事業評価において特に優れた事業と認められた事業一覧（平成19年度助成事業）

No.	評価先団体	事業名	助成区分	基金区分	掲載ページ
1	社団法人 全国訪問看護事業協会	児童・生徒に対する在宅療養支援に関する教材作成事業	一般分	長寿	1
2	社団法人 日本てんかん協会	てんかんのある障害者の生活支援体制を構築するための事業	一般分	高・障	2
3	特定非営利活動法人 全国高齢者ケア協会	高齢者ケアにおける介護と看護の連携支援事業	特別分	長寿	3
4	特定非営利活動法人 権利擁護支援『ぶらっと ほーむ』	権利擁護支援人材トレーニングマニュアル開発・普及事業	特別分	長寿	4
5	社会福祉法人 やおき福祉会	精神障害者の退院・早期就労サポート事業	特別分	長寿	5
6	在宅ケア研究会	介護予防のための既存施設活性化策定事業	特別分	長寿	6
7	財団法人 たんぼぼの家	アートを仕事にする中間支援組織の創設事業	特別分	高・障	7
8	特定非営利活動法人 新座子育てネットワーク	地域における父親支援ネットワーク構築事業	特別分	子育て	8
9	特定非営利活動法人 HUGこどもパートナーズ	産後の孤独による育児不安の早期解消支援事業	特別分	子育て	9
10	特定非営利活動法人 フローレンス	病児保育を東京全土へ！病児保育展開事業	特別分	子育て	10
11	特定非営利活動法人 子どもの虐待防止ネットワーク・ あいち	虐待を受けた子どもと家族のためのシェルター支援・運営事業	特別分	子育て	11
12	社会福祉法人 大阪市障害者福祉・スポーツ協会	多くの障害者が親しめるスポーツ・レクリエーションの啓発・普及事業	特別分	障スポ	12
13	特定非営利活動法人 農業塾風のがっこう	障害者の社会復帰を目指した農業訓練事業	地方分	高・障	13
14	社会福祉法人 美作市社会福祉協議会	一人暮らし老人に役立つ生活塾事業	地方分	高・障	14
15	特定非営利活動法人 LapoLapoLa	アールブリュットコレクション巡回旭川展企画事業	地方分	高・障	15
16	熱気球ふれあい事業実行委員会	熱気球に依る自閉症児等の活性化支援事業	地方分	高・障	16
17	子育てサポート アンティ・マミー	ママに息抜タイムを贈る子育てサポート事業	地方分	子育て	17
18	特定非営利活動法人 マミーズ・ネット	地域や親同士で支える親の居場所開設事業	地方分	子育て	18
19	特定非営利活動法人 教育活動総合サポートセンター	特別支援教育・キッズセミナー事業	地方分	子育て	19
20	特定非営利活動法人 子育てコンビニ	「母への扉」映画製作上映シンポジウム事業	地方分	子育て	20
21	社会福祉法人 始良町社会福祉協議会	あいら子育て情報配信事業	地方分	子育て (モデル事業)	21

<平成19年度助成事業>

一般分：長寿社会福祉基金

**社団法人 全国訪問看護事業協会**

**【児童・生徒に対する在宅療養支援に関する教材作成事業】**

(助成金額：8,698千円)

<事業の紹介>

児童、生徒が高齢者、障害者が在宅支援療養するうえでの支援の担い手としての意識啓発とともに訪問看護ステーションの活性化を目的として 児童、生徒向けに教材を作成する(車椅子の扱いや見舞い等) 訪問看護における看護職の存在、役割について教材を作成する。DVD、副読本を作成し、訪問看護ステーション、学校教員等に配布する。 報告書を作成し、全国の訪問看護ステーションに配布する。

<評価部会委員によるコメント>

児童・生徒を次世代の支援者として育てるという発想は時宜にかなったものであり、児童・生徒の反応はよく、団体の人材養成にもつながったという。成果物としてのDVDも非常によくつくられており、その内容も殆んど申し分ないものである。DVDの内容は、患者と中学生との交流も含めて、日頃の患者へのサービス内容、又、サービス提供者と患者との人間関係、交流等が収録され、中学生の訪問看護への参加による職場体験を通して、訪問看護の状況がよくえがかれている。また、訪問看護のレベルは高く、そういう意味では本DVDは教材としては非常によくつくられており、見る人にインパクトを与える。中学生も体験学習を通して訪問看護の意義、目的をよく理解している様子がうかがわれる。看護教育等の現場からも反応はあり、福祉教育、看護教育の一環としての教材を作成するという本事業の目的は、ほぼ達成されたとみることも出来る。

<助成事業による成果物など>

報告書「児童・生徒に対する在宅療養支援に関する教材作成事業」

DVD「私の訪問看護職場体験」

ポスター

チラシ

(団体の問い合わせ先)

〒160-0022 東京都新宿区新宿1-3-12 壱丁目参番館302

TEL: 03-3351-5898

<http://www.zenhokan.or.jp/>

<平成19年度助成事業>

一般分：高齢者・障害者福祉基金

**社団法人 日本てんかん協会**

**【てんかんのある障害者の生活支援体制を構築するための事業】**

(助成金額：7,366千円)

<事業の紹介>

てんかんのある障害者の自立生活支援体制を構築し、生活安定に向けた取り組みを強化するため、発作重症度が軽度の人に係る分野でのアンケート調査を実施し、支援課題を明確化する。支援モデルを構築する。マニュアルを作成する。報告書を作成し、関係機関に配布する。

<評価部会委員によるコメント>

てんかんをもつ人と家族にとって心やさしく、行き届いた結果が出ている。

冊子は読みやすく、親切である。これをさらに成功例を示すなどで一層利用しやすくなればと思う。

マニュアルのねらいが多方面の読者を想定せざるを得ないのでまとめにくいとは思いますが、さらに工夫されたらよいのではないのか。

<助成事業による成果物など>

報告書

冊子「てんかんのある人の生活支援マニュアル」

(団体の問い合わせ先)

〒162-0051 東京都新宿区西早稲田2-2-8 全国心身障害児福祉財団ビル4F

TEL: 03-3202-5661

<http://www.jea-net.jp/>

<平成19年度助成事業>

特別分：長寿社会福祉基金

**特定非営利活動法人 全国高齢者ケア協会**

**【高齢者ケアにおける介護と看護の連携支援事業】**

(助成金額：17,206千円)

<事業の紹介>

高齢者ケアの領域において中核的なサービス提供者である介護職と看護職の連携推進を支援することで、安全な質の高いサービス提供を目的に、介護職による医療行為の実態調査や介護と看護の連携マニュアルを作成する。

<評価部会委員によるコメント>

実施責任者の30年にわたる経験の上に介護と看護のそれぞれの分野を尊重しながら、高齢者の幸せの実現をめざしてのコラボレーションのあり方を、実践の裏づけの上に情熱をおさえて体系化してある。介護・看護の研究者、実践者への説得を深められるように望みたい。

<助成事業による成果物など>

冊子「介護と看護の連携のためのマニュアル」

(団体の問い合わせ先)

〒169-0075 東京都新宿区高田馬場1-21-13 廣池ビル402

TEL: 03-3204-2695

<http://www.care-k.net>

<平成19年度助成事業>

特別分：長寿社会福祉基金

**特定非営利活動法人 権利擁護支援『ぷらっと ほーむ』**

**【権利擁護支援人材トレーニングマニュアル開発・普及事業】**

(助成金額：4,930千円)

<事業の紹介>

権利擁護支援を担う支援者のトレーニングマニュアルを開発し、それを普及していくことを目的とし、視察、事例検討会、勉強会、ワークショップの開催、シンポジウム等を開催する。

<評価部会委員によるコメント>

現場に積み重ねられつつある経験をスタッフの共有財産として組織の力量を高めるために活用しようとするこのマニュアル作成は、設立間もない団体にとってはかなりきついものがあったと思う。しかし他の事例調査も含めて今回の学習は恐らく組織の今後にとって大きな意味があったと思う。マニュアル自体は今後も改訂を重ねて他組織でも活用できるように完成度をあげていく必要があるが、今後、各地で民生委員等が新たな権利擁護団体を立ち上げるためにも、貴重な参考資料となる。今後の改訂作業と普及に期待したい。

<助成事業による成果物など>

報告書「ぷらっとほーむ権利擁護支援に関する調査」

冊子「実務ハンドブック-困ったときの知恵袋-」

冊子「人材育成トレーニングマニュアル」

(団体の問い合わせ先)

〒458-0041 愛知県名古屋市緑区鳴子町4-2 第2カンテ

TEL: 052-899-3220

<http://www.kenriyogo.org/>

< 平成 19 年度助成事業 >

特別分：長寿社会福祉基金

**社会福祉法人 やおき福祉会**

**【精神障害者の退院・早期就労サポート事業】**

(助成金額：5,000千円)

< 事業の紹介 >

精神障害者の退院から就労までの援助システムの開発や援助手法の普及を目的に、事業関係者の課題共有及び研究を通し、地域全体への周知・呼びかけを行い、精神障害者の退院後の生活と早期就労をサポートし関係者の支援システムを構築する。

< 評価部会委員によるコメント >

地元の病院ドクターの協力のもとで本会は地域に根ざした活動と実績を有しており、地道なこの種の取り組みこそが精神障害者の地域生活と地域での就労を可能とする。今後も支援が望ましい。また、理事長の論文、報告書は有意義であり、この内容は各地で行われている精神障害の地域生活支援、地域の理解力の促進、障害者を抱える家族の支援及び就労支援にとって参考となるものである。

< 助成事業による成果物など >

プログラム「精神障害者の『退院支援と早期就労を考える地域フォーラム』」

チラシ

(団体の問い合わせ先)

〒646-0015 和歌山県田辺市たきない町22-15

TEL: 0739-23-3667

<http://www.yaoki.or.jp/index.html>

<平成19年度助成事業>

特別分：長寿社会福祉基金

## 在宅ケア研究会

### 【介護予防のための既存施設活性化策定事業】

(助成金額：5,000千円)

#### <事業の紹介>

地域自治体の既存の各種トレーニング施設を有効利用し、高齢者の心身機能の維持向上と運動習慣の定着化によるQOL向上により、要介護高齢者数が減少することを目的に、研究会・実行委員会・合同委員会・現地調査及び筋力トレーニングプログラムの実施と開発、指導者育成のマニュアルを作成する。

#### <評価部会委員によるコメント>

本事業は、介護予防という国の施策にも沿うもので、時宜にかなったものである。研究会や講師のメンバーには我が国でも積極的に活動している著名な委員があり、この点からも本事業のレベルの高さがうかがわれ、高く評価したい。事業内容は、きめ細かなプランニングに基づいており、筋トレはハードもさることながらソフトが重要という考え方は評価でき、全体的にレベルの高い内容となっている。また、筋トレの方法も細かい点にまで配慮され、パートナートレーニングというユニークな方法を駆使している。マニュアルの内容も妥当で分かりやすく、更にDVDまで作成している。効果の判定法も妥当と思われる。

#### <助成事業による成果物など>

トレーニングマニュアル「高齢者パワーアップ教室 説明マニュアル」

マニュアル補足説明用DVD

(団体の問い合わせ先)

〒105-8521 東京都港区芝大門1-1-3 (株)日赤振興会内

TEL: 03-3437-7519

<平成19年度助成事業>

特別分：高齢者・障害者福祉基金

財団法人 たんぽぽの家

【アートを仕事にする中間支援組織の創設事業】

(助成金額：5,000千円)

<事業の紹介>

障害者がアートを仕事にすることを支援するための中間支援組織を設立し就労につなげること及び個人レベルの活動を社会とつなぐネットワークを構築し展開することを目的に、展示会、障害者の作家・作品等のデータベース構築及びフォーラムを開催する。

<評価部会委員によるコメント>

従来の福祉関係者とは異なる発想とスタッフによって先進性が高く、注目度の高い事業に取り組んでいる。また、アジア・オセアニアからの訪問者や研修者もあり、国際的に通用する事業内容である。今後相当期待することができる。代表の力によるところが大といえる。

<助成事業による成果物など>

事業のご案内「BRAND NOTE」

リーフレット

チラシ

DM

(団体の問い合わせ先)

〒630-8044 奈良県奈良市六条西 3 - 25 - 4

TEL : 0742 - 43 - 7055

<http://popo.or.jp/foundation/>



<平成19年度助成事業>

特別分：子育て支援基金

**特定非営利活動法人 新座子育てネットワーク**

**【地域における父親支援ネットワーク構築事業】**

(助成金額：4,400千円)

<事業の紹介>

子育てにかかる父親支援ネットワークの構築を目的に、父親向けの子育てに関するフリーペーパーの発行や交流会などを行う。

<評価部会委員によるコメント>

事業の実施については、IT・ブログを使った情報交換網、情報発信や行政への働きかけなど、随所に人間観察に基づく人と人を繋ぐ工夫がみられる。この活動は、2008年度も続いているという。

カナダの父親育児支援団体の関係者や大学の研究者、マスコミ、NPO関係者など多彩な講師陣を揃える力量(人との関係性づくりのうまさ)はたいしたものだと感心する。

この団体は、地域にいくつかの活動拠点をもち、活動するだけではなく、父親育児支援の最先端を走りたいという強い意欲を持っている。その団体にとって、有効な情報(カナダの進んだ父親育児支援の方法論等)を、全国の関心を持つ団体に提供することは重要な活動である。情報誌(ダディーズ・ペーパー)の体裁(写真・カラー誌面、投稿者の構成等)は充実したものになっている。自分たちの地域の活動状況も取り込み、自治体・企業の父親支援プログラムの普及等とも関連させながら、体当たりで、各方面の識者・有力者との関係性を築くやり方は頼もしく思える。また、今回の事業の展開過程で、多数のマスコミ(新聞・NHK等)の取材を受け、また、市役所の廊下を使って、活動の写真展を開催するなど、意欲的な広報姿勢には感心させられる。

<助成事業による成果物など>

報告書「お父さんは、地球でいちばん、すてきな仕事」

情報誌「Daddy s paper」

(団体の問い合わせ先)

〒350-0011 埼玉県新座市野火止4-19-68-203

TEL: 048-482-5732

<http://ccn.niiza-ksdt.com/>

<平成19年度助成事業>

特別分：子育て支援基金

**特定非営利活動法人 HUGこどもパートナーズ**

**【産後の孤独による育児不安の早期解消支援事業】**

(助成金額：1,577千円)

<事業の紹介>

育児不安で一人悩む母親を減少させることを目的とし、外出しにくく母子でひきこもりがちな時期に不安解消的支援を行う。

<評価部会委員によるコメント>

本事業は単なる「大会等の実施」事業ではなく、慎重な手続を踏んだ調査研究でもある。その結果、心理学的には乳児期こそ人との関わりを通して「基本的信頼」を形成する大切な時期であり、人との関わりが不可欠である。あやしうたやベビーマッサージは母子のコミュニケーションに一定の効果がある。子育て中の母親同士の繋がりやスタッフの母親への気遣いが母親に安心感を与えたことが確認された。単に事業を実施するだけでなく、その効果を評価する事業は、他への波及性などの普遍性を持った事業と言える。この団体の特徴として、行政スタッフとの連携が強いことがうかがえる。事務職ではなく、保健師・臨床心理士などの行政の専門職である。行政全体の関心が薄い中、これらの専門職の協力を得ることは重要である。

<助成事業による成果物など>

報告書「産後の孤独による育児不安の早期解消支援事業-生後2カ月の赤ちゃんとお母さんのおしゃべりタイム-」

講座資料「あやしうたあそびうた」

ポスター

チラシ

(団体の問い合わせ先)

〒189-0001 東京都東村山市秋津町4-37-28

TEL: 042-397-1024

<http://www10.plala.or.jp/ikunet/hug/>

<平成19年度助成事業>

特別分：子育て支援基金

**特定非営利活動法人 フローレンス**

**【病児保育を東京全土へ！病児保育展開事業】**

(助成金額：4,956千円)

<事業の紹介>

病児保育問題を過去のものとするを目的とし、経済的自立の可能な成功モデルを東京近郊全域へ展開する。

<評価部会委員によるコメント>

全国モデルとなる先進的な病児保育への取り組みを、NPO法人として一定の安定的な採算性を追及しながら実践している団体として、今回もその延長上の事業と評価できる。保育スタッフの確保等、サービス提供がニーズに追いつかない悩みは、活動の活性化を促進するものとして、むしろ肯定的に評価したい。

<助成事業による成果物など>

病児保育ハンドブック

こどもレスキュー隊員研修資料

パンフレット「子どもが熱を出すのは、当たり前のことだから。」

ポスター

チラシ

(団体の問い合わせ先)

〒162-0822 東京都新宿区下宮比町3-1 津多屋ビル3F

TEL: 03-3235-6206

<http://www.florence.or.jp/>

## <平成19年度助成事業>

特別分：子育て支援基金

### 特定非営利活動法人 子どもの虐待防止ネットワーク・あいち 【虐待を受けた子どもと家族のためのシェルター支援・運営事業】

(助成金額：5,000千円)

#### <事業の紹介>

緊急避難場所の提供や相談支援事業を行うこと、専門家とのネットワークを形成すること、運営マニュアル等を作成し他の団体の参考に資することを目的とする。1年次に、委員会を設置しシェルター運営を行うとともに、家族支援および直接援助者養成講座を開催する。またシェルター支援・運営マニュアル検討を行う。2年次に、シェルター運営を行うとともに、家族支援および直接援助者養成講座を開催する。またシェルター支援・運営マニュアルを作成する。

#### <評価部会委員によるコメント>

虐待を受けた子どもと相手から自立したいと考えている女性を母子共に受け止める、制度にはないシェルターを創設し、運営し成果をあげている取り組みである。こうした新しい事業を立ち上げ、運営の仕組みやノウハウを作ること、関係者のネットワークを作り、適切に利用され成果をあげるようになることは容易なことではない。実際に作られたシェルターは借り上げた民家を改造して何重にも鍵がかかるよう工夫されている。ここで働く人たちの研修は体系的に長期にわたり行なわれ、養成された人たちがサポートの仕事を行っている。関係機関とのネットワークも、シェルターを利用し自立を支援するためには欠かせることが出来ないが、ネットワークが作られ利用者が紹介されたりしている。相談はこの会の弁護士がまず受け、利用できる人かどうかの判断をするところから始まる。支援についてマニュアルも作成されている。1年では新しいシェルター設置に大半の時間がとられてしまうことからすると2年継続であったためにこのような事業が実際に運営され成果をあげるところまでできたと評価できる。2年継続したことにより、事業維持に必用な最低限の費用や体制が明らかになったことで、独自運営できる方策を考え運営を継続することが可能になっている。この団体の取り組みは、2年継続を効果的で有意義に使い、先駆的事业を開発し継続させていることで大いに評価できるし、2年継続支援の意義を明らかにした取り組みとも言える。

#### <助成事業による成果物など>

報告書「シェルター「プーさんの家」  
「シェルター支援・運営マニュアル」

(団体の問い合わせ先)

〒460-0002 愛知県名古屋市中区丸の内1-4-4-404

TEL: 052-232-2880

<http://www.capna.jp/>

<平成19年度助成事業>

特別分：障害者スポーツ支援基金

**社会福祉法人 大阪市障害者福祉・スポーツ協会**

**【多くの障害者が親しめるスポーツ・レクリエーションの啓発・普及事業】**

(助成金額：2,547千円)

<事業の紹介>

スポーツに参加する機会が少ない障害者が自立した活動ができるよう、多くの障害者が楽しめるスポーツ・レクリエーションの啓発と普及を図る。1年次に、全国の障害者スポーツ関連施設のスポーツ・レクリエーションを調査し、その活動を映像化する。情報提供のために、ライブラリー開設の準備やHPにて情報を発信する。2年次に、1年目の調査を検討するため体験会を全国で実施するとともに、ライブラリー事業を継続し、事業の成果を報告書に取りまとめ配布する。

<評価部会委員によるコメント>

全国的規模の調査・研究に加えて、誰でも親しめるスポーツ・レクリエーションの啓発・普及という事業を進める団体として、全国的視野で活動している当団体は、最も適切であると思われる。全国的な本事業の進め方としても、全国のスポーツ施設、指導者、行政、医学、学校など幅広い関係者による実行委員会の結成や、多くの施設の協力を得て、実技を通じた体験会などの実施は適切であった。地元大阪市においては、当団体が管理・運営する2つの施設(スポーツセンター)でのスポーツ教室などの開催や、この施設職員による各区の市民スポーツ施設などでの、全ての市民を対象としたスポーツ教室なども開催している。このような活動は、全国の他の障害者スポーツ施設などでもスポーツ教室などの形で開催されるようになってきている。

<助成事業による成果物など>

報告書「多くの障害者が親しめるスポーツ・レクリエーションの啓発・普及事業報告書」

調査資料

(団体の問い合わせ先)

〒543-0021 大阪府大阪市天王寺区東高津町12-10

TEL: 06-6606-1631

<http://www.fukspo.org/index.html>

< 平成 19 年度助成事業 >

地方分：高齢者・障害者福祉基金

**特定非営利活動法人 農業塾風のがっこう**

**【障害者の社会復帰を目指した農業訓練事業】**

(助成金額：2,000千円)

< 事業の紹介 >

酪農場の運営や農作業訓練(乳牛の飼育管理・市乳の製造・鶏の飼育管理・野菜の栽培管理)を知的障害者と研修生で行い、購入した機器により商品化した製品を、地域のイベント等に参加・販売し、地域との交流を図る。

< 評価部会委員によるコメント >

酪農大学の教員かつ青年向けの農業塾の主宰者が酪農乳牛の飼育に関連して障害特性を生かして乳製品を作るという取り組みは今後農分野への就労の良きモデルとなるもので、事実、他の地域においても山間部や限界集落などでそのような取り組みが行われている。

(団体の問い合わせ先)

〒005-0823 北海道札幌市南区南沢三条2-15-5

TEL: 011-571-3387

<http://www.kaze-school.com/index.html>

<平成19年度助成事業>

地方分：高齢者・障害者福祉基金

**社会福祉法人 美作市社会福祉協議会**

**【一人暮らし老人に役立つ生活塾事業】**

(助成金額：1,456千円)

<事業の紹介>

一人暮らし老人が気軽に参加できるような一人暮らし老人に役立つ生活塾を開催する。社会参加や交流の場作りの講座を各分野から講師を招いて提供し、一人暮らし老人の実態把握と組織化、ネットワーク作りの推進を図る。

<評価部会委員によるコメント>

地域の中で起っている問題に着眼し、自らの組織の力量に見合った活動の組み立てとなっている。モデル事業としての取り組みであったが、合併による地域事情により現状では仕方がなかったのではないかと考えられる。事業内容にそれぞれ工夫があり、今後も継続されていくことを望むものである。

<助成事業による成果物など>

福祉サービス情報提供講座資料

料理教室レシピ

(団体の問い合わせ先)

〒709-4234 岡山県美作市江見280

TEL：0868-75-2622

<http://www.fukushiokayama.or.jp/Mimasaka/mimasaka.htm>

<平成19年度助成事業>

地方分：高齢者・障害者福祉基金

**特定非営利活動法人 LapoLapola**

**【アールブリュットコレクション巡回旭川展企画事業】**

(助成金額：2,000千円)

<事業の紹介>

アールブリュット（芸術教育を受けたことのない人が自らの衝動によって創作されたアート）コレクション作品が来日し、全国で巡回展を開催するにあたり、旭川でも巡回展覧し、海外、道内をはじめ、全国各地で活躍されている障害のある作家の作品を市民に広く紹介することで、障害のある方たちの作品に対する芸術的評価、関心を高め、知的、精神的な障害のある方たちの芸術的な創作活動の意欲を高める。

<評価部会委員によるコメント>

アールブリュットという国内で知られていない芸術を日本で紹介するだけにとどまらず、道内の障害者の埋もれているアートとの協働という点において、先駆性、独創性が極めて高い事業である。「コレクションの借用料が高く、機構の助成で助かった」と機構の基金助成が、国際的な展示の一翼を担えたことになる。またそれが地方分であり、地方発信になっている。今後は道内のアーティスト、美術館、福祉施設とのネットワークを結ぶ予定で、来年度の事業も準備中である。来場者も通常の冬季展示の倍以上で、メディアも多数取り上げてくれた。

<助成事業による成果物など>

出展作品リスト「アール・ブリュット/交差する魂」

チラシ

(団体の問い合わせ先)

〒070-0037 北海道旭川市7条通6丁目シャンノール緑道101

TEL: 0166-29-3836

<http://npo.lapolapola.com/>



<平成19年度助成事業>

地方分：高齢者・障害者福祉基金

**熱気球ふれあい事業実行委員会**

**【熱気球に依る自閉症児等の活性化支援事業】**

(助成金額：937千円)

<事業の紹介>

熱気球を用いて発達障害児及び知的障害児を持つ家族の余暇支援を行う。  
(熱気球搭乗体験、ミニ気球づくりなど) また、イベント実施時に関わるボランティアの育成を行う。

<評価部会委員によるコメント>

市民の力で独創性のある活動を毎年2回継続的に実施しており、毎回少しずつ発展させているところは評価できる。参加者も右肩上がりが増えてきており、リピーターも多いという。地元企業の協力も定着してきているが、毎回の資金集めは大変であろう。2回のうち1回分が機構の地方分の助成でカバーできるとともに、ボランティアやリーダーの研修も行うことができた。通常的なイベント費補助は助成金の趣旨からいうと相応しいとは言い難いが、このことによって活動の質が上がれば、助成の意味はある。

<助成事業による成果物など>

プログラム

チラシ

(団体の問い合わせ先)

〒329-1233 栃木県塩谷郡高根沢町宝積寺2404-14 (阿久津仁建築設計室内)

TEL: 028-675-4798

<http://www.ne.jp/asahi/with.balloon/enjoy/>

<平成19年度助成事業>

地方分：子育て支援基金

**子育てサポート アンティ・マミー**

**【ママに息抜タイムを贈る子育てサポート事業】**

(助成金額：2,000千円)

<事業の紹介>

地域子育て支援センターアンティマミー(お母さんみたいな隣のおばさん)事業を普及啓発するために、講演会や小冊子の作成を行う。

<評価部会委員によるコメント>

社会が厳しさを増し、皆が守りに入るなかにあって、こうした地道な活動が10年もまったくのボランティアで続けられてきたことに心より敬意を表したい。子育て支援は大規模な活動ではなく、地域のつながりを紡ぎだしていくこうした一人ひとりの活動から出来上がっていくのだと感じさせられる事例である。スーパーで出会う関係、助けていただいた方が今度はできる範囲で助ける側に自然に回ることでできる関係、こうした関係の循環が、子どもを中心とした緩やかなつながりを生み出していくのであろう。10周年記念として啓発のために作成された情報誌も見やすく手軽である。利用者に対する当事者としての深い共感を感じさせる活動であり、今後も継続され、かつ、少しでも広がっていくことを願いたい。地域の人たち一人ひとりが無理せずできることをする、そのことがゆるやかな連帯を生み出していくことの大切さを深く考えさせられる活動である。

<助成事業による成果物など>

小冊子「子育てサポーター アンティ・マミー」

ポスター

チラシ

(団体の問い合わせ先)

〒272-0836 千葉県市川市北国分4-10-3

TEL: 047-373-0191

<平成19年度助成事業>

地方分：子育て支援基金

**特定非営利活動法人 マミーズ・ネット**

**【地域や親同士で支える親の居場所開設事業】**

(助成金額：2,000千円)

<事業の紹介>

子育て中の親の居場所を開設し、子育て中の親同士が子どもを預けあえる関係づくりを促すなど、お互いに支えあった子育てができるようにし、その女性たちをサポートするボランティアスタッフや団塊の世代の男性も含めたサポーターを育成を行う。

<評価部会委員によるコメント>

本団体は10数年前から、母親たちが自らのニーズを丹念に掘り起こし、地域の特性に根ざした活動を地道に展開してきた団体である。従来のグループ活動の実績が認められ、今春ようやく自らの居場所を確保した本団体である。評者は開設前に同場所を訪れているが、今般、ヒアリングのために再訪してみて、大変居心地の良い居場所となっていた。本助成事業が居場所の開設整備に非常に大きな役割りを果たしていることが明らかに認められた。地方分助成の成功例の一つといえよう。サポーター養成に関しては、たとえばシニア男性の参加を得るなど、必ずしも当初の目的を達していない部分もあるが、居場所を拠点として親同士の預けあいへと、事業は順調に成果をあげ始めているようである。メンバーが本助成を契機に自分たちの活動にさらに自信を深めており、今後の発展を期待したい。

<助成事業による成果物など>

サポーター養成講座資料

パンフレット

ポスター

チラシ

(団体の問い合わせ先)

〒943-0882 新潟県上越市中田原1

TEL: 025-526-1099

<http://www.mammies.jp/>

<平成19年度助成事業>

地方分：子育て支援基金

**特定非営利活動法人 教育活動総合サポートセンター**  
**【特別支援教育・キッズセミナー事業】**

(助成金額：2,000千円)

<事業の紹介>

LDやADHDなどの軽度発達障害のために一般の塾などでは受け入れてもらえない児童に対し、きめ細かい学習指導や生活支援を行う。また、家庭や学校に居場所が求められず不登校などの不適応を起こしている児童や学習意欲を持っていても家庭の教育力の低さで学習の機会が与えられない児童に対し、基礎基本学習や発展的学習の機会を提供する。

<評価部会委員によるコメント>

退職小学校長・教諭によって構成されるNPO法人として、小学生の学習支援をしているユニークな活動をしている団体である。構成員の力量が高く、組織に活力があることが十分うかがわれた。

<助成事業による成果物など>

冊子「教育活動総合サポートセンター実践研究」

(団体の問い合わせ先)

〒213-0033 神奈川県川崎市高津区下作延1219-104 サニーテラス ナカイ1F

TEL: 044-877-0553

<http://www16.ocn.ne.jp/~snmi/index.html>

<平成19年度助成事業>

地方分：子育て支援基金

**特定非営利活動法人 子育てコンビニ**  
**【「母への扉」映画製作上映シンポジウム事業】**

(助成金額：2,000千円)

<事業の紹介>

初めて出産を経験した女性達の声を集めた映画制作(bloom ~生まれたのは私)をし、完成披露上映シンポジウムを開催する。

<評価部会委員によるコメント>

本事業は、母親になったばかりの女性たちの子育てに関する喜びや戸惑いなどを生の声として集めて映画として完成させたものである。作品としての完成度も評価できるが、それ以上に本事業が子育て中の母親たちの手によってなされ、映画制作を通して、彼女たちの社会参加と自己肯定に大きくつながっている。この点が各方面からも高く評価され、マスメディアにも数多く取り上げられた。本助成の意義を感じさせられる事業である。

<助成事業による成果物など>

DVD「Documentary movie bloom ~生まれたのは私」

パンフレット

ポスター

チラシ

(団体の問い合わせ先)

〒181-0013 東京都三鷹市下連雀8-3-1 三鷹市三立SOHOセンター210号

TEL: 0422-41-7021

<http://www.kosodate.or.jp/>

<平成19年度助成事業>

地方分：子育て支援基金（モデル事業：携帯電話メールによる子育て情報配信事業）

**社会福祉法人 始良町社会福祉協議会**

**【あいら子育て情報配信事業】**

（助成金額：2,000千円）

<事業の紹介>

携帯電話を活用し、「メール」により、不審者情報等を配信し児童の安全を確保するとともに、子育て支援情報を利用者の必要に合わせて提供することにより、子育て支援並びに児童の健全育成、また災害時の情報伝達に役立てる。

<評価部会委員によるコメント>

先進地域（広島）を視察し、イメージをつくり、さらに業者を選定し、広島のものとはほぼ同じ仕様ができるところに依頼したのが年末で、始動が2月だったために配信回数は助成年度中は13回と少ないのも、止むを得ない部分である。また、配信をあまり多くすると、かえって迷惑になるということから、どのような内容にするか試行錯誤の部分もあるが、休日当番医のお知らせなどは、参加者から「頼りにしている」というメールをもらっている。今後は、参加者が退会する際の理由や、地域のほしい情報などのアンケートがつけられるようにする予定にしておき、子育てだけでなく、参加者の層に分けて、広く地域の情報発信をしていきたいと、次年度の予定を組んでいた。地域は、ベッドタウンで、若い世代は新聞購読しない、自治会の加入をしない、という現象が起きており、地域のイベント情報を求める声も多いということで、そうした発信にも力を入れていくとのこと。社会福祉協議会のミッションとして継続する意向で、費用は社協の予算から捻出することで計画化されている。

<助成事業による成果物など>

チラシ

（団体の問い合わせ先）

〒899-5432 鹿児島県始良郡始良町宮島町13-9

TEL：0995-65-7757

<http://www.aira-shakyo.jp/m/>